

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。
★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
★鈴木牧場・新牛舎応援基金 500255 1口500円で期間中(期間:2024年4月2回～2025年3月4回)は毎週募金できます。
★脱原発と暮らし見直し委員会「12年のまとめ」の印刷カンパ 500256 1口200円で毎週受け付けています。



News Letter

2024年10月1回号発行:常総生協広報G 2024.9.16

臨時総代会延期のお知らせ

2024年9月11日
理事長 中丸晴子

**9月28日の臨時総代会は延期になりました。開催日は未定です。
度重なる変更でご迷惑おかけして大変申し訳ありません。**

総代のみなさま、組合員のみなさま、いつもお世話になっております。
さて、9月28日に予定しておりました臨時総代会ですが、延期させて頂きたく、お知らせいたします。

理事会では9月7日まで、予算案の内容について協議しましたが専門家に相談する必要があるのではないかと結論に至りました。現在、相談する専門家を検討中です。今後、専門家の意見を踏まえ、皆様に開かれた理事会運営であるようにしっかりと話し合いをしてまいります。

6月の総代会では、臨時総代会を早期に開催することを申し送られており、本来であれば、臨時総代会へ向けて早々に準備し、予定通り開催することが役目ですが、予定通り開催することができず、大変申し訳ございません。

理事会では連日協議を重ねてまいりましたが、このような事態になり2度目の開催日変更となり、予定されていた方には、大変ご迷惑をおかけいたします。深くお詫び申し上げます。

尚、臨時総代会の日時は未定でございます。

準備が整い次第改めてご案内させていただきたく、ご理解・ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

2024年10月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●

○提携・協同・連帯企画●

○「常総っ子応援団」in流星台プレイパーク:毎週木曜日10:00～14:30
活動中です!(出入り自由)
※毎月第3土曜開催の歴史講座は諸事情により終了となりました。
長い間ありがとうございました。

・9/29JCO臨界事故25周年集会@東海村

・9/28臨時総代会は延期となりました

常総生協に関わるみなさん、こんにちは(^^)
ハチドリ仲間(南米・先住民の昔話、森の火を消そうと
小さな嘴・くちばしで水を運ぶハチドリのお話より)をつなぐ
新しいコーナー「ハチドリ・レター」です。
今週は理事の阿部法子さんからです♪



つくば市にある、自然豊かな流星台プレイパークで、子どもたちと思いっきり遊ぼう！

こんにちは♪理事の阿部法子です。私は毎週木曜日、つくば市の流星台プレイパークにいます。私の主催している「こどもとつくる学校 でんでん」というオルタナティブ・スクール※の子どもたちと一緒に、泥団子をつくったり、草花で遊んだり、ウォータースライダーをしたり。第4木曜日には、常総生協の食材をつかって、カレーや豚汁など煮炊きをして楽しんでいます。

一般にも開放されているので、小さい子を連れたお母さんやお父さんも遊びにきます。子連れでなくても大歓迎！ふらっとおしゃべりに来てくれる組合員さんもいます。戦争体験や原発のことを若い世代に伝えたい方、家での子育てに疲れておしゃべりしたい方、ぜひプレイパークで心も体も開放してお話しましょう。

場所 流星台プレイパーク（つくば市流星台 59 番地）←
開催日 毎週木曜日（9月19日はお休みです）←
時間 10:00～14:30（出入り自由）←
持ち物 着替え、お弁当、水筒←
（火があるので、焼いて食べるものがオススメ）←

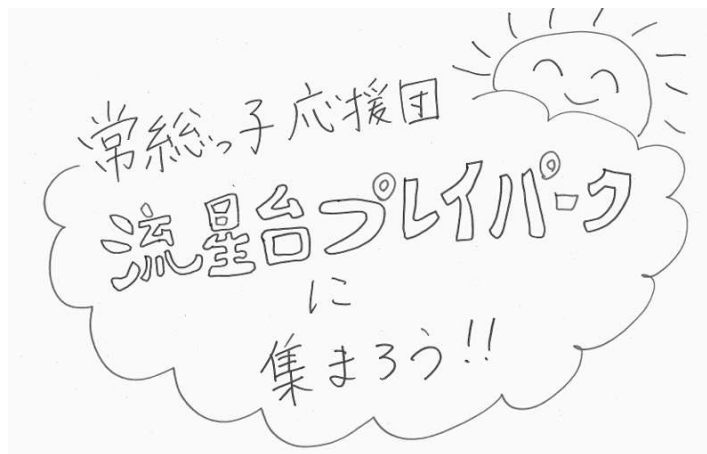


※こどもとつくる学校 でんでん

オルタナティブ・スクールとは、公立の学校に替わるもう一つの選択肢としての学校です。

でんでんは、つくば市を拠点に、自然体験や創作活動を大切にしながら、こども主体の教育のあり方を目指して、平日毎日開催しています。教育を変えることを通して社会をよりよくすることを目標にしています

* JOSO news letterは、常総生協のホームページのニュースレターの欄をクリックしてください。バックナンバーも遡ってご覧いただけます♪カラーでご覧いただけます(^^)
ハチドリ・レターについては、9月2回号に詳しく掲載されています。



🍀 木陰があって風が通るので、下界は猛暑でもプレパに来ると意外と一日中過ごせます
緑がいっぱい。カブトムシ、きつつき、キジ、たぬき・・・ふきのとう、桑の実、栗・・・



ウォータースライ
ダー、ビニールを敷い
て猛スピード！ 暑さ
もふっとぶ



🍀 たき火でつくるご飯は格
別のおいしさ！ たくさん
作ってもおかわりで売り切
れます

新役員 挨拶（12）♪



監事 丸町芳夫

丸町芳夫です。この度、再び監事に推薦され、10年位前の監事のことを思い出しながら理事会に参加しています。

10年位前と言えば、常総生協が盛んに様々な活動を旺盛に花咲かせていた頃だと思います。私は東京から守谷に引っ越しをして、まだ1・2年位だったと思います。

東京では、我が家は東都生協の組合員でした。守谷に引っ越していろいろな生協があるのでどの生協がいいのか考えていたところ、初めて生産者を訪ねる日帰り見学の計画を知り、参加したところから常総生協にはまりました。東京の生協はみな大きすぎて「生協の品物を選んで買う」「届けてもらえる」のが生協であったと思います。

ところが、生産者を訪ねることで「生産者がどんなことを大事に育てているか、直接聞ける」という初めての経験をさせてもらい、常総の浅野さん、シジミの塩屋さん、青のりの生産者さん、きのご農家の飯泉さん等いろいろな生産者の苦勞でできた食べ物のおかげで、80歳以上まで長生きできていることに感謝しています。

我が家では、常総生協の中で「みそ作り」を教えてもらったことから、生協の先輩理事さん（故人）だった方に講師をしていただき、今でも知り合いの方で毎年味噌作りを続けています。その中で、常総生協に入ってくれた方もいます。

福島第一原発事故後の放射能測定、平和問題、常総市の災害支援と当時の理事さん方と一緒に参加できたのですが、監事の仕事のことはあまり覚えておりません。私は、監事というのは年に1回監査をすることとと思っていましたが、理事会で「監事というのは、会計の監査だけでなく、運営全体を見ておかしいということがあれば、理事会で意見を言うことが大事なのよ。だから、理事会には欠かさず出てください」と、当時の村井理事長から言われたことを覚えています。しかし、今ではみんなが話しをしているのが聞こえないことが多かったり、理解できないことが多く、迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。

毎月はじめ「1の回」は 岩瀬さんの豚肉特集！

残暑と言うには厳しすぎる暑さが続いています。岩瀬牧場にも秋の便りが届きました。

毎年恒例となっている秋冬の風物詩『粃殻の山（もみがらのやま）』が今年も出現しました。牧場では、豚舎の敷料の水分調整に混ぜ混んだり、冬場の底冷え対策に豚舎の床に敷いたり寒い時期は特に粃殻を大量に使います。稲刈りが始まると近隣のお米農家さんからお声がかかり、年間通して使える量を頂けるので本当に助かります♪稲作の副産物として発生する粃殻、粃摺をする度にどんどんと溜まってしまい置場所に苦慮する米農家さんと貴重な資材としてたくさん欲しい岩瀬牧場。お互いに持ちつ持たれつの関係で、地域の中での循環が出来る仕組みです。

また、牧場の堆肥を肥料として使ってくれている梨農家さんからは、豚のおやつ＆水分補給にと商品にはならないはねだしの梨も届きました。一時の旬の味に豚も大喜びでかじりついています(笑)

この様に、地域に支えられている部分も多い岩瀬牧場。これからも、近隣の皆さんとの関係を大切に地域循環型の養豚で少しでも地域貢献ができれば良いなと感じます。

P.S.真夏のような青空の下、このコラムを書きながら「早く涼しくなって欲しいなあ～」と心の底から願う今日この頃です。（牧場担当職員・横関）



『粃殻の山』